

は じ め に

香中研メディア教育研究部会長 野藤 等

本年度も、1年間、本会のお世話をさせていただきました。会員の皆様方の御協力により、一つ一つの事業に成果があがったことに対しまして感謝申し上げます。

6月の第一回評議員・理事会研修会で、昨年度の事業報告等がなされ、今年度の事業計画・予算等が決められ、1年間の事業が執行されました。

7月、本会にとって重要な事業である第26回NHK杯全国中学校放送コンテスト県予選が行われ、アナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組に応募作品が慎重に審査されました。優秀作品が全国大会に出品されました。全国の壁は高いようですが、年々、質の高い作品が応募されるようになっていくことは大変、喜ばしいことであります。

次に、8月の夏季研修会は、東部中学校において、各郡市の研究発表が行われました。どの郡市の発表も、創意工夫した実践例が報告され、参会者に大きな示唆を与えていただきました。また、東部中学校の研究推進の中間報告が行われました。

11月、四国放送教育研究大会の事前研修会が東部中学校で開催され、3本の研究授業と研究討議が行われました。国語と技術、そして道徳の授業における放送番組の効果的な活用について3人の指導者の方々から、御指導をいただき、今後の方向が示されました。

2月の第二回の評議員・理事研修会では、本年度の事業報告・会計報告等がなされ、次年度の事業計画が慎重審議されました。この中で、平成22年度四国放送教育研究大会香川大会における、香川県代表の分科会提案の発表郡市を決定しました。

平成24年度からの新学習指導要領の本格実施に備え、メディア、特に放送番組を活用した授業研究を行い、生徒が目を輝かせながら意欲的、主体的態度で授業に取り組むような仕掛けをしたいものであります。

今後は特に、平成22年11月11日、坂出市内の東部中学校を含む5校種において開催される四国大会に向けて、具体的な連携を一層深めながら、中学校におけるメディア部会の実践研究のさらなる活性化を図りたいものであります。

本メディア部会は、従来から研究紀要は、ホームページに掲載して閲覧できるようにしています。今年度の研究のまとめをしていただいた各郡市の執筆者には、お忙しい中、立派な原稿をお寄せいただき、心より感謝いたします。

新学習指導要領において、「生きる力」の理念が謳われています。現代は知識基盤社会であり、情報化時代の中で生きる生徒にとってメディア教育の意義はますます大きくなると考えています。今後とも、会員各位とともに実践研究に励みたいと考えています。

1年間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

